

第5検討部会 会議録

会議の名称	第10回 第5検討部会
開催日時	平成19年12月19日(水)18時00分から19時55分
開催場所	川口市職員会館 講座室A
出席者	(部会長)石井副委員長 (副部会長)伊田(昭)委員、豊田委員 (委員)庵地委員、木岡委員、北原委員、椎橋委員、山田委員
会議内容	1. 町会、地域自治組織について
会議資料	・第10回部会資料
発言内容	<p>・自治振興課沢田課長より、町会についての説明を受けた。</p> <p>町会の歴史</p> <p>・昭和8年に市制を敷き、同時に44の町会組織ができた。当時は行政の下部組織、連絡組織であった。</p> <p>・終戦後廃止したが、各地域で町会復活の要望が出て、昭和29年に自治協力会という名称で設置された。自治に協力ということであるが、政治的側面もあった。昭和33年4月1日に現在の町会となった。</p> <p>町会の現状</p> <p>・川口市には現在、町会が172、自治会が21ある。自治会はマンション居住者で組織するものである。任意団体で自由に設立、廃止できる。</p> <p>・主な活動は</p> <p>防犯：学校の登下校の見守り、夜の防犯パトロールなど</p> <p>防災：自主防災組織、防災訓練、災害時の活動など</p> <p>清掃：道路、公園</p> <p>コミュニケーション：各種スポーツ、盆踊り、レクリエーション、子ども会、敬老会など</p> <p>その他：募金活動</p> <p>市の支援</p> <p>・自治振興課が窓口のものと担当課が窓口のものがある。</p> <p>町会相談員：市職員を兼務で1名配置し、市とのパイプ役になってもらっている。ボランティアである。</p> <p>連合町会長会議：年に3回、6、10、2月に実施。193の町会、自治会長に一同に集ってもらい、連絡を伝え、要望を聞く。その2、3週間前に18の連合町会長会議を行う。</p> <p>広報：毎週水曜日に市の連絡事項を町会長へ送付。毎月1回最終水曜日には全世帯に配布・回覧して欲しいものを町会長経由で市の広報誌と併せて各世帯に配布。報奨金を払っている。</p>

町会開館の新築、改築の補助：4/5 以内の補助で市から 500 万円、県から 250 万を上限としている。区画整理で生み出された土地や神社の境内などに設置。固定資産税は減免される。

法人化支援：認可の事務を支援

その他：防犯灯の管理、集団資源回収など

町会との関係

- ・市と対等のパートナーという考えで、緊密な連絡体制をとっている。

町会の課題

役員の高齢化

- ・なり手がいない。同じ人が何年もやることとなる。

加入率の減少

- ・現在の加入率は 67% である。マンションは周りの人と関わりを持ちたくない人が多い。いざという時に困るので、何とか加入率をあげていきたい。

- ・上記の説明を受けて質疑、意見交換を行った。

町会の運営経費

- ・町会費は町会で異なる。月 200 円～500 円が多い。町会長は持ち出しになる。

連合町会の範囲

- ・昔からの地名。昔から言えば村単位である。

市としての支援の考え方

- ・10 数年前までは市が公金を使って研修旅行を行っていた。政治的に好ましくないため、廃止した。活動は町会任せである。
- ・市が加入を促進することもしない。
- ・市は、町会に直接でなく、全町会が加入しているコミュニティ協議会に年 80～90 万円の活動補助金を出している。

意見

- ・特区のようなものを作って、新しい町会のあり方を模索してみるのはいかがでしょうか。
- ・青木町 5 丁目では苦勞して法人化したけれど、あまりメリットを感じていない。個人情報保護の意識が強く住民が情報を出さないため、名簿が作れず、活動に制約がある。
- ・町会は開かれていない。

- ・もっと市が前面に出て、寝たきりの方の情報などを把握することが必要ではないか。
- ・市としてはイベント時の動員協力など事業への協力を一番期待している。
- ・部会長から資料説明後、意見交換を行った。
町会の再生について
- ・戸塚地区は急激な人口増加をしている。子ども会、地域のクラブなどとさまざまなかわりがある。体育祭、ふれあい祭りなどみんなが協力して、活気がある。現状でうまくやっており、前向きに見ていきたい。
- ・私の所もうまくやっている。役員は2年任期で交代する。下の世代もいて、町会とPTAが連携できている。
- ・新しいやり方には拒絶反応がある。
- ・未来のまちづくりをイメージして関与していくと、また新しい試みもできるかもしれない。
- ・町会がばらばらだとよくいかない。人づくりなくしてまちづくりなしだと思ふ。
- ・現状を否定しないで、若い人にもっと参加してもらって、まちづくりを考えていくのはいいかと思う。
- ・いろいろな団体が入るほうがいい。NPOやPTAも入れて活動するべきである。
- ・町会の役割が多すぎる。調整することで毎日が精一杯である。未来づくりは別組織で考えるほうがいい。
- ・私もまちづくり協議会設置案に賛成である。市役所から直に193組織にいろいろな活動を依頼するのは無理がある。
- ・どちらかという協議会設置案がいい。小学校レベルというのは力が発揮できる。
- ・子どもを中心にすると親も引き込める。私も協議会設置案に賛成である。
- ・町会にはすべての事業が来ている。町会としてはこなせない。出て来る人も同じだ。
- ・町会活動に誘ってくれる人がいないと参加できない。
- ・最近、地域福祉活動計画の策定に関して、モデル地区に指定され、町会で障害者マップ作りを行っている。みんな楽しく参加している。
- ・私も協議会設置案がいい。町会に頼っている現状を変えられる。
- ・新住民は中に入るのはむずかしい。協議会という名称は硬いので、もっと別の名称の方がいいが、さまざまな人が参加できるような形でまちづくりを進めていくのがいいと思う。
- ・うまくいっている所は町会強化案でもいいが、行き詰っている所は協議会設置案がいいと思う。

	<p>次回議論テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要なテーマは議論したので、来年からはいよいよ自治基本条例について考えていくことにする。 ・次回は川口市のあるべき姿、自治基本条例の構造について議論する。
次回以降日程 (予定)	<p>第11回 1月15日(火) 10~12時 川口市職員会館 講座室B</p> <p>第12回 1月23日(水) 10~12時 川口市職員会館 講座室B</p>